緑と花のフェスティバル
実施報告書（統計資料）
-長野会場版-

松本会場　2023(令和 5)年 5 月 13 日(土)
長野会場　2023(令和 5)年 5 月 28 日(日)
共催
　特定非営利活動法人ＣＯ２バンク推進機構（設立 20 周年記念事業）
　信州緑花ネットワーク（信州花フェスタメモリアル）
　一般財団法人日本造園修景協会長野県支部

公園で楽しい一日をすごそう！公園には、緑や花があって楽しくなごめるほか、環境や防災、健康増進など、さまざまな機能があることを体験しました。ゼロカーボン、グリーンインフラ、木育・緑育の体験とレクリエーションで多くの皆さんが楽しんでくれました！

▲　長野会場レイアウト図

１．長野会場

会　場：長野市城山公園　開催日：５月２８日（日）　9:00～16:00

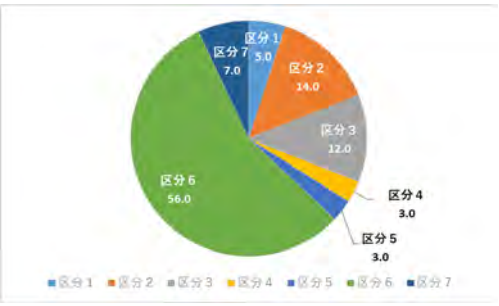
来場者：6,294 人（約 6,300 人）

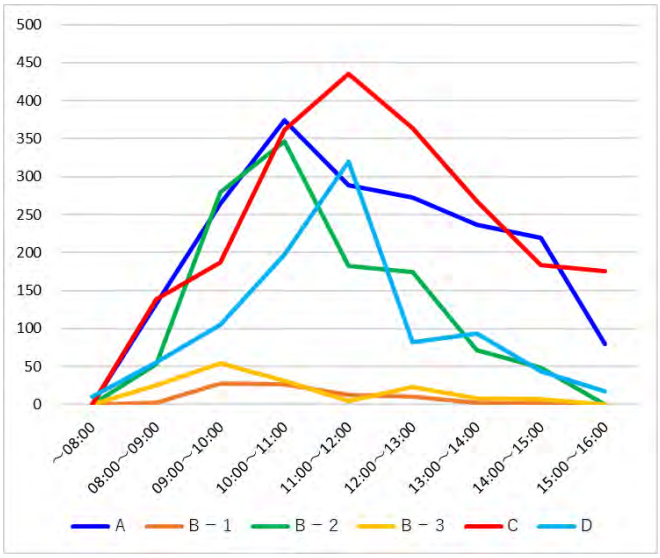
当日は好天に恵まれたまれ、たいへん多くの来場者がありました。日差しが強く暑いコンディションでした。本イベントを目的に来場された方のほか、公園や美術館への来場者、善光寺参拝者の観光客など、さまざまな参加者がありました。ご協力くださいました皆様、来訪者された多くの皆様に感謝申し上げます。

▼表　来場者数（年齢区分・時間帯別）

時間帯	区分１	区分２	区分３	区分４	区分５	区分６	区分７	合計	うち車椅子
～08:00	0	0	2	0	0	8	0	10	0
08:00～09:00	13	35	52	24	5	241	36	406	0
09:00～10:00	29	137	131	33	29	485	73	917	0
10:00～11:00	108	219	165	44	34	677	90	1,337	1
11:00～12:00	83	173	101	31	43	719	94	1,244	1
12:00～13:00	47	135	120	17	26	525	55	925	3
13:00～14:00	32	90	82	19	16	394	47	680	0
14:00～15:00	23	59	38	13	18	320	31	502	0
15:00～16:00	7	14	41	20	0	177	14	273	0
合計	342	862	732	201	171	3,546	440	6,294	5

年齢区分１	乳児：１歳未満
年齢区分２	幼児：１歳以上の未就学児
年齢区分３	小学生
年齢区分４	中学生
年齢区分５	高校生以上の学生
年齢区分６	大人
年齢区分７	シルバー世代：高齢者（60歳代後半以降）





▲図　来場者数（入場動線・時間帯別）

▲図　来場者調査地点

噴水広場に出入りできる場所に調査員を配置し、集計しました。

▼表　アンケート結果（居住地）

居住地	乳幼児	小学生	中学生	高校生など	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	無回答	合計
長野市	244	275	16	11	25	221	166	32	30	19	5	1,044
須坂市	9	10	1	1		5	5	3				34
中野市	4	1		1		3	1					10
飯山市		1							1			2
千曲市	3	8				4	1					16
北信地域(その他)	1	5				5	2	2				15
松本市	1	3				4	2					10
塩尻市			1									1
安曇野市		1				1			1			3
大町市												0
中信地域(その他)	2	3				1	1					7
東信地域	2	5	3	1	2	4	4	3		1		25
南信地域						1	1		2			4
長野県外		2			1	2	2	4		7		18
国外												0
無回答		6			2		3			3	1	15
総　数	266	320	21	14	30	251	188	44	34	30	6	1,204

火おこし楽しみ 脱炭素考える

長野・城山公園でイベント

火おこしを体験するこども（左）

地球温暖化防止を目指すNPO法人「CO2バンク推進機構」（長野市）は28日、ゼロカーボン（脱炭素）の推進や緑化活動を身近に感じてもらうイベント「緑と花のフェスティバル」を、長野市の城山公園で開いた。約6300人が来場。市内のボランティアグループや企業など計48団体が、それぞれ体験コーナーを設けて、環境保全の大切さを伝えた。

ベレットストーブ製造販売会社（長野市）は、ゼロカーボンのサンケイ商事（佐久市）は、火おこしの苦労と喜びを味わう体験会を開催。同市犀南小学校と金山緑地公園で開いた。約630人が来場。市内のボランティアグループや企業など計48団体が、それぞれ体験コーナーを設けて、環境保全の大切さを伝えた。

ベレットストーブ製造販売会社（長野市）は、ゼロカーボンのサンケイ商事（佐久市）は、火おこしの苦労と喜びを味わう体験会を開催。同市犀南小学校と金山緑地公園で開いた。約630人が来場。市内のボランティアグループや企業など計48団体が、それぞれ体験コーナーを設けて、環境保全の大切さを伝えた。

新聞記事

信濃毎日新聞

5 月 30 日（火）

●ダイジェスト（１）

荻原市長からオープニングのメッセージ

来場者全員でのラジオ体操！

ラジオ体操には、老若男女、たいへん多くの皆さんが参加してくれた。

フォトスポットのシンボルゲート

クイズラリー・アンケートに参加してくれる 1,400 人余り！

噴水広場の動線を確保しながら、芝生などを活用して出展者のテントが並ぶ。

宿根草など、いま注目の花苗販売にも注目！家庭での緑化普及に役立った。

コサージュづくり、コケ玉作り、卵の殻の寄せ植えなど、体験も充実！

都市緑化を進めよう！宿根草の無料配布はあっという間に 100 鉢のお渡し終了…

信州緑花ネットワークでは、安曇野のボランティアが育てた花苗配布。

更級農業高校からは、綿のてるてる坊主作りや寄せ植え、花苗販売など充実。

グリーンインフラ展示やポールウォーキング、足の無料計測など多彩な体験。

薪割り、マシュマロ焼き、テントやアウトドアグッズ体験に集まるたくさんの親子連れ。

バターナイフを作ろう！など、木材を利用したクラフトづくりも大人気。

木材利用やチェーンソーアートも注目を浴びた。

イスなどを作れる木の工作コーナーにはおおくの親子連れが参加。

火起こしなどアウトドアのスキルアップ！リンゴ箱のアップサイクルも展示。

火をつける苦労を知った、楽しいストーブ体験コーナー。子供たちがチャレンジ！

●ダイジェスト（２）

ペレットや薪、バイオブリケットなど、木質バイオマスの展示、体験が充実！

手回し発電機、ミニソーラーカーなど、ゼロカーボンの楽しい体験に参加者多数。

会場内では、電気自動車や水素自動車を実物展示。電源も体験展示で利用！

防災にも役立つ車両型無人ロボットのでも展示コーナー。

風で回り、暗くなると光る！空き缶風車づくりに、たくさんの親子連れが参加！

日射があるとソーラークッカーでポップコーンがすぐに出来上がり！

「ソルガムを育てて、食べて脱炭素」。初めて見るソルガムと食品などに高い関心。

青空図書館でひと休み。工作もできて人気のコーナー。

開会前から列になって待つ人も！終日人気の「おさがり交換会」。

長野清泉吹奏楽部33名の皆さんがオープニングや演奏会で盛り上げてくれる。

城山小学校合唱団19名の皆さんの素敵な歌声が会場内に響く。

アルクマと茶太郎と、ジャンケンゲームで大盛り上がり！

大道芸の体験も！

青空の下で紙しばい

AC長野パルセイロの「ふれあいサッカー教室。選手と一緒にゲームを楽しむ。

春なのに、初夏のような好天。ジェラートなどの物販は大人気。

会場内5か所でゼロカーボンのクイズを掲示。クイズラリーでは、家族の対話も。

アンケート協力者1258人(回収率88%)！普及啓発チラシ配布。抽選でにぎわう。

チラシおもて面

チラシうら面

チラシうち面

２．松本会場

会　場：信州スカイパーク　　開催日：５月１３日（土）　9:00～16:00

来場者：1,050 人

当日は、開始時には好天であったものの、午前中から風が強くなったり、昼過ぎからは降雨もあるなどのコンディションでしたが、多くの来訪者がありました。

開始直後から駐車場「Ｐ８」は満車の状態となり、「Ｐ８Ｂ」、やまびこドーム反対側の「Ｐ１０」に移動する車も見られました。ご協力くださいました皆様、来訪者された多くの皆様に感謝申し上げます。

●松本会場レイアウト図

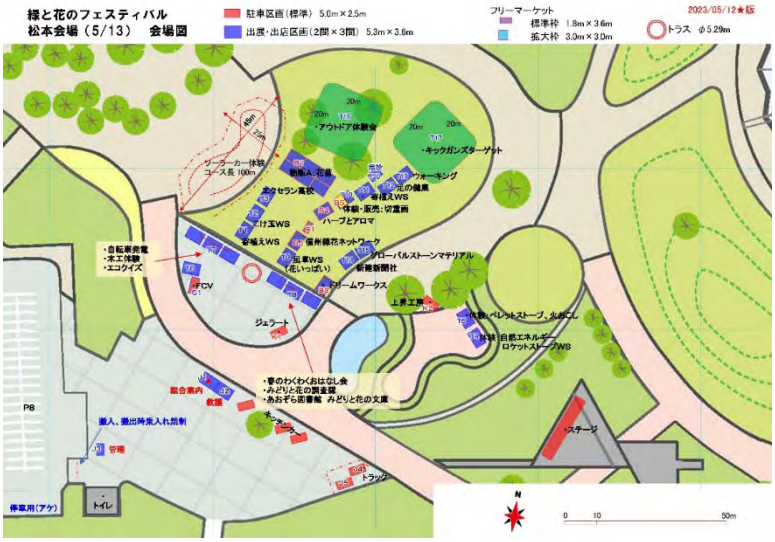
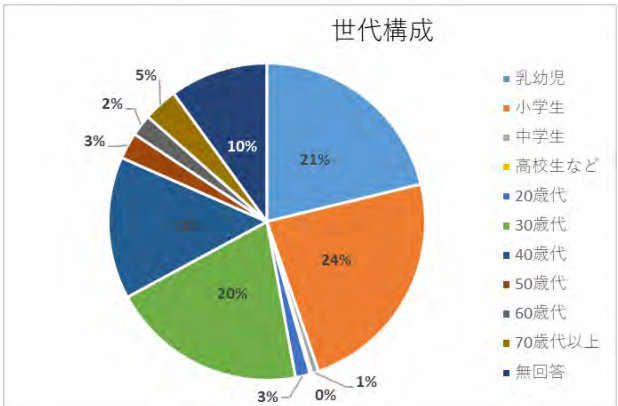


表　アンケート結果（居住地）

居住地	乳幼児	小学生	中学生	高校生など	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	無回答	合計
松本市	57	70	1	0	1	57	40	7	8	10	8	259
塩尻市	10	8	0	1	2	3	6	3	1	1	0	35
安曇野市	7	4	0	0	0	11	2	0	0	0	0	24
大町市	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
中信地域(その他)	5	5	2	0	2	1	6	1	0	2	0	24
長野市	4	3	0	0	1	4	3	0	0	0	0	15
北信地域(その他)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東信地域	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南信地域	1	2	0	0	0	2	0	0	0	1	0	6
県外	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
国外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無回答	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	31	35
総数	85	94	3	1	6	80	58	11	9	14	40	401



緑と花のフェスティバル

グリーンインフラとして代表的な2公園で開催

「緑と花のフェスティバル」では公園を会場にたくさんの人で賑わい緑や花に触れた（長野市城山公園）

松本平広域公園スカイパーク

2023年5月、透水性舗装が施されるなど、県内でもグリーンインフラの代表的な事例とされている二つの公園を会場に、「緑と花のフェスティバル～公園であそぼっ たのしもう！」が開催された。13日は松本市の松本平広域公園スカイパークで、28日には長野市の城山公園噴水広場でそれぞれ行われ、緑や花と親しむ「緑育体験ゾーン」、芝生で遊ぶ「遊び体験ゾーン」、木と親しむ「木工体験ゾーン」など、地域が関わったさまざまなワークショップ型ブースが出展。パネル展示とともにリーフレットも配布され、グリーンインフラに関連する製品や技術・工法が紹介されると、親子連れからお年寄りまで幅広い年代の人が緑を学び、楽しんだ。

リーフレットの表紙を担当した画家の降幡好華さん（安曇野市）は、「植物や生き物を身近に感じてもらえたら」と、筆に思いを込めた。絵の中には鳥や昆虫が隠れていて、パネルを目にした親子たちは、一緒にゲーム感覚で夢中になって楽しんでいた。

期待超えて２会場で7000人が来場

「植物や生き物を身近に感じてもらえたら」と話すイラストを描いた画家の降幡好華さん

今回のフェアで旗振り役を務めたのは、信州緑花ネットワーク。19年春に長野県を舞台に全国都市緑化信州フェア「信州花フェスタ2019」が行われたことを契機に、県民、地域、企業・団体、学校、行政などが協働して「花と緑があふれる地域づくりを進めること」を目的として組織された団体で、造園建設業や都市設計を生業とする建設関連企業をはじめ、学校や市町村の職員、緑化活動を行う市民ボランティアなどが立場を超えて活動している。

「信州花フェスタ2019」開催以降、県では阿部守一知事が「信州まちなかグリーンインフラ推進計画」を掲げ、まちなかの緑化推進へ向け地域や建設業界に働きかけを続けており、21年7月には長野市・松本市・上田市・飯田市の主要4市と「信州まちなかみどり宣言」を行うなどの活動も進めてきたが、令和元年東日本台風やコロナ禍により一般生活者を巻き込んだ活動ができずにいたことから、今回のイベントはフェア以来4年ぶりに緑化推進の機運を高める機会となった。その結果、事務局によればイベントは2会場合わせて7000人を超える人出で賑わったといい、関係者の期待を超えるものとなった。

運営事務局関係者は今回のイベントについて、「緑や花に親しみを持ってもらいながら、これから頻発するおそれがある豪雨災害や酷暑による熱中症対策、CO2排出削減など、まちなかのみどりが暮らしの中でどう役立っているのか、来場をきっかけに考えてみてもらえたら」とした。